

第30回議会力向上会議記録（抄）

（29.11.22）

一、協議事項について

正副座長より、次の事項に関し意見聴取を行い、協議の結果、下記のとおりとなった。

（別紙各資料参照）

1. 今年度の協議項目及び年間スケジュールについて（別紙資料1参照）

前回の会議において、新たな協議項目を追加した審議スケジュールについて協議を行ったが、意見集約に至らなかったため、改めて各会派等の意見を持ち寄った。

【協議結果】

審議スケジュールは正副座長案のとおりとした。なお、長谷川議員から、「議員の処遇」のうち議員報酬に係る議論については政治的判断を要する議論であり、議会力向上会議で議論すべきものではないとの意見があった。

2. 議会における業務継続計画について（別紙資料2・3参照）

前回の会議で正副座長より示した業務継続計画（BCP）案（資料2）について、「全体の流れと議会BCPの関係」（資料3・フロー図）のうち「議員の安否確認」の項目まで、各会派等から意向聴取し、協議を行った。

【各会派等より出された主な意見】

大阪維新の会 堺市議会議員団	・業務を継続するという目的から外れる項目はできるだけ省き、シンプルな計画にすべきではないかと考える。
公明党 堺市議団	・フロー図にかかるBCP案の記載箇所を分かりやすく、また、フロー図に対応したBCP案となるように、BCP案の記載順序等の構成を見直すべきである。 ・BCP案10ページ「(4) 安否確認フロー」について、「危機事象発生」及び「対象災害かどうか（場合により議長の判断）」の記載は不要ではないかと考える。 ・堺市議会災害対策会議の設置場所を具体的に明記するべきではないかと考える。
自由民主党・ 市民クラブ	・BCP案は詳細に記載してあるため、発災した時に使えるわかりやすい別のマニュアルがあってもよいのではないかと考える。 ・BCP案3ページ「6 対策会議と議員の役割（1）」における⑥座長等が事故にあった時の職務代理の順番について、年長議員ではなく議長経験者や期数順に改めるなど検討していただきたい。

ソレイユ堺	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP案8ページ「8各組織等の関係図」について、「議員」と「堺市災害対策本部等」の関係が、「議員」と「堺市議会災害対策会議」の関係と同じような記載となっているのはおかしいのではないかと考える ・災害時における議会と行政との関係をわかりやすく書き込んだ方がよいと考える ・選出区の中での議員の動きも記載しておいた方がよいと考える。 ・災害時に本BCP案を運用していくためには、前提として議会事務局職員を災害地区班員から外すことも考えなければならない。 ・議員との連絡手段が主にメール・FAXと記載しているが、さまざまなネットワーク環境もあるので議論が必要ではないかと考える。
日本共産党堺市議会議員団	<ul style="list-style-type: none"> ・議会閉会中に発災した時の対応をよりきめ細かく記載するべきである。
長谷川俊英議員	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP策定の議論を始めてかなりの時間が経過している。災害はいつ起こるか分からないことから、できる限り速やかに暫定版を作成し、一時的にでも対応できるようにしておくべきと考える。

【協議結果】

正副座長より、今後の議論の進め方について、ワーキンググループを設置して集中的に議論してはどうかとの提案があった。

協議の結果、議会力向上会議の構成議員から各会派1名を選出し、ワーキンググループを設置して議論を進め、来年1月末までを目途にBCP案をまとめることとなった。なお、ワーキンググループは非公開とし、ワーキンググループの開催頻度は同グループに一任することとした。

(ワーキンググループ構成議員)

大阪維新の会堺市議会議員団	札場泰司
公明党堺市議団	裏山正利
自由民主党・市民クラブ	西川良平
ソレイユ堺	木畑匡
日本共産党堺市議会議員団	森田晃一

3. 議会審議の見直しについて (別紙資料4～6参照)

前回の会議において持ち帰りとなった、議会審議の見直しに関する正副座長案(たたき台)について、各会派等の意見を持ち寄った。

【協議結果】

議会年間スケジュール(資料4)、予算・決算審査特別委員会審議方法(案)(資料5)については、意見集約に至らなかった。

本件については、部分的な変更により年間の議会審議スケジュールへ影響が生じるため、慎重

に議論する必要があることから、次回会議においては、本会議運営のあり方や予算・決算審査特別委員会の新たな審議方法の試行時期等について、具体的に整理し、各会派等から意見聴取し、協議を行うこととした。

4. 議会報告会について（別紙資料7参照）

前回、大筋で了承された議会報告会について、参加していただく堺市自治連合協議会との調整状況等について報告を行い、開催概要の詳細について協議した。

【協議結果】

議会報告会当日の出席議員については、12月6日（大綱質疑3日目終了後）開催予定の各常任委員会終了後の委員協議において決定することとし、その人数は各委員会から原則6名で調整することとした（各常任委員会で2テーブルを設置のため、1テーブルあたりは3名の委員を選出する）。併せて、サポート議員については、各常任委員会の中から1名選出することとした。本件は、次回の議会運営委員会（11月28日）において、この内容で開催案を確認し、決定することとした。

5. 政務活動費運用指針の見直しについて（別紙資料8参照）

正副座長より、政務活動費の運用指針の見直しについては、平成29年2月21日開催の第26回議会力向上会議において、以下の事項について引き続き協議していくことが合意されているとの説明があった。

①按分の考え方について

- ・按分の基準は設けず、実態に応じて按分する。
- ・原則として実態に応じて按分するが按分が困難なものについては、一定の按分を定めておく。

上記2つの考え方について、議論を深める。

②個人に依頼したポスティングについては、委託契約書をもって見積書、請求書の提出を省くことの是非について

また、新たに見直したいその他の内容についても各会派等から提案していただき、平成30年4月1日から運用できるように本運用指針を見直していきたいとの説明があった。

(1) 按分の考え方について

【各会派等より出された主な意見】

公明党 堺市議団	・按分の基準は設けず、実態に応じて按分する方法でよいと考える。
自由民主党・ 市民クラブ	・政務活動は多岐にわたるため、その一つ一つに按分の基準を設けることは困難と考えるため、議員の裁量で按分を決めればよい。 ・按分が困難なものを定義し、一定の按分基準を運用指針で定めてしまうことは良くないと考える。

ソレイユ堺	<ul style="list-style-type: none"> ・実態に応じて按分するが、按分の根拠を明らかにできない時などのために、一定の按分基準を設けておいた方がよいと考える。 ・一定の按分基準を規定する場合、政務活動費検査員などに意見をもらうなど検討していただきたい。
日本共産党堺市議会議員団	<ul style="list-style-type: none"> ・合理的な按分の根拠を示せない時の按分基準を設定する場合、各党派等の按分の実態を把握できていないため、各党派等の按分の実態を出し合って決めていくのがよいと考える。
長谷川俊英議員	<ul style="list-style-type: none"> ・使用実態が明らかにできない時などのために、一定の按分基準を設けておいた方がよいと考える。

【協議結果】

本件については、次回の議会力向上会議において引き続き協議することとした。

- (2) 個人の依頼したポスティングについては、委託契約書をもって見積書、請求書の提出を省くことの是非について

【各党派等より出された主な意見】

自由民主党・市民クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの堺市議会で起こった政務活動費にかかる経緯を考慮すると、見積書・請求書などすべての書類を提出しなければならないと判断せざるを得ない。しかし、一定金額で分けて提出書類を省略してもよいのではないかと考える。
ソレイユ堺	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンを所持していない高齢者などの個人に見積書等を作成してもらうのは困難なため、議員がひな形を作成し、請負人に差し上げたうえで作成してもらっている。本来の形ではないため、個人と法人に分けて考えてもよいのではないかと考える。
長谷川俊英議員	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的に少額の契約で見積書・請求書などの提出を求めることは現実的ではない。1万円以下は、見積書等を求めないなど金額で分けるのも一つ方法ではないかと考える

【協議結果】

本件については、一定金額を定めて、その金額以下であれば提出書類の合理化を図ることを確認した。

次回の議会力向上会議においては、金額の設定及び提出を省略する書類について協議することとした。

- (3) その他見直し事項について

吉川座長より、切手の処理について、現在は使用の都度、郵便局等で購入しなければならないが、例えば、手元に保管できる切手枚数を決め、何に切手を使用したかを記入できる帳簿等を作成するなど、切手を管理できる項目を追加してはどうかとの提案があった。

【各会派等より出された主な意見】

自由民主党・ 市民クラブ	・パソコンで作業しやすいように、会計帳簿のデータの改善をお願いしたい。
ソレイユ堺	・新人議員等が議員任期開始（5月1日）後に必要なもの（例：事務所賃料等）に対し、任期開始前に支出した場合は政務活動費の充当ができない。明確な運用ルールがないため、整理していただきたい。 ・政務活動費の運用指針の見直しについては、監査委員の意見を聴く仕組みを作ってもらいたい。

6. 議員を対象とした研修会の公開について

次回以降、改めて協議することとした。

7. 第31回議会力向上会議の開催日時について

本件については、平成30年2月6日（火）午後1時から開催することとした。